

民報 藤島

2021年 12月26日

第1330号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一(宝徳)
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
(月200円程度)
12月 19人 45,890円
11月 41人 38,813円

くしびき温泉ゆ〜TOWNが30周年 ぽっぽの湯は新年も企画目白押し

くしびき温泉ゆ〜TOWNは、12月25日(土)に30周年を迎え、12月18日に記念講演、19日・ジュースの無料引換も企画目白押しです。
から31日まで入浴券プレゼントのクイズ、25日にはアイススクリーム
券など各種記念イベントの開催です。
ぽっぽの湯は、新年も企画目白押しです。



2022年1月
☎0235-57-4313

仕事帰りに! 温泉ストレッチ



13日(木) 18:30~19:30
23日(日) 10:00~11:00
27日(木) 18:30~19:30
会費 1回500円(入浴券付)
申込 先着15名 12月31日(金)一時集約

中高齢者のスマホ教室

11日(火) インターネットを楽しもう (15:00~16:00)
17日(月) Wi-Fiにつなげてみよう (15:00~16:00)
24日(月) 便利なアプリを楽しもう (15:00~16:00)
会費 1回500円(入浴券付)
申込 先着15名 12月31日(金)一時集約

憩いの湯 長沼温泉へようこそ



2022年1月
1日(土) お屠蘇サービス
2日(日) 甘酒サービス
11日(土)~16日(日) ぽっぽ肉うどん 700円⇒600円
17日(月)~ 頑張れ受験生!合格消しゴム進呈(数量限定)

4日・18日(火) 健康体操教室(14:00~15:00 毎回100円)
9日(日) 書き初め会・書き初め展(10:00~11:30)
11日・25日(火) スパ体操(14:00~15:00 月200円)
18日(火) お風呂託児(10:00~15:00 1人500円)
19日(水) そば打ち体験(10:00~13:00 先着10名・要予約)
22日(土) ミニコンサート(13:30~ロビーにて)
健康けん玉教室(15:00~15:45 参加費無料)
28日(金) 健幸かるた(14:00~15:00 先着30名・要予約)

★十文字中華の日は…10日、20日、30日

☎0235-64-4126

藤沢周平を読む ⑱

鈴木重雄(八色木)

「どうれ、ンだば拝見すつがの」

おきくの沈黙には構わずに、大鷲坊は無難

作にお菊の身体に手をのばした。いたわりも

ない、荒々しい手つきだった。その手で、お

きくの痩せて青白い脚が膝のあたりまでむき

出しにされた。おきくの顔に、泣き

出しそうな表情が動いている。おとしはだ

じようぶ、と言うように笑いかけた。

だが、大鷲坊のやり方は、おとしにとつて

思いがけないものだった。足を見ると言

つても、せいぜい着ているものの上から触れてみ

る程度だと思っていたのだ。

大鷲坊は腕組みして、じつとおきくの脚に眼

を落している。鋭い眼つきだった。おきくは

あきらめたように眼をつむっている。そうし

て押し寄せる羞恥心とたたかっているのかも

知れなかった。細かいが、白桃のよう

に白い脚だった。痩せているので、膝頭が少

し突き出ている。そしてその上に、青白く肉

がみちた腿がのぞいていた。浴衣の上からも

わかるほど、胸が隆起し、まぎれもない一人

の女だった。おきくはその乳房の高まりの下

のあたりに、固く両手を組み合わせている。

大鷲坊が、また手をのばして、今度はおきく

の脚にさわった。するとおきくが、ぱつと

眼を開いて、おとしを見た。おきくの顔には恐怖に似た表情が現れている。

「おらだば、飛び上がったしまつ。」

大鷲坊は、おきくの足の指を握り、内側に

曲げたり、上に反りかえらせたりしている。

それが終わると、足首を丹念にさわり、骨や

筋を探るようなことをした。それから手を上に

滑らせて、白いふくらはぎを静かに揉みはじめた。そうしながら、

大鷲坊は時どき鋭い目でおきくの顔をうかが

っている。

見ているだけで、おとしは冷や汗が出るよ

うな気がした。だがおきくの脚は、死んだ魚

が投げ出されているように、びくりとも動かないのだった。

その脚が、不意に跳ねた。

「おとしさん」

悲鳴に似た声でおきくが呼んだ。同時に、

おとしも強い口調で「鷲蔵さん」とたしなめた。

ふくらはぎを揉んだ大鷲坊の掌が、さりげなく

膝頭を越えておきくの内腿に滑りこんだのを、おとしも見たので

ある。

「いや悪かったの。ちよこつと手が滑った」

大鷲坊は神妙に詫言を言った。

「今日はこれまでだ」

すすり泣きの声を漏らしているおきくを残して、そそくさと立ち上がった。

歴史公園

歴史公園

城貞(藤の花)

密葉垂縷藤架条
芳園電飾文今宵
晚秋夜景画何尽
風退小春遊観鏡

密葉 縷を垂る藤架の条
芳園の電飾 今宵を文る
晚秋の夜景 画けど何ぞ尽きん
風退き小春遊観 饒し

葉がすきまなく生えている細い枝が、藤の柵にからみついて、垂れさがっている。

歴史公園のイルミネーションが、暗闇をまるで別世界のようによく照らしている。

晩秋の歴史公園を描こうとしても、絵としてどうしても画けないほどの素晴らしさである。

小春日和の風の穏やかな日は、子供から大人まで楽しめることなく大勢の人でにぎわっている。



歴史公園＝藤の花公園(ヒスカ)。密葉＝葉が隙間なくついている。垂＝たれる。縷＝からみつく。架＝藤の柵。芳園＝花の咲きにおう公園。電飾＝放電管の光で装飾したもの。今宵＝今夜。晩秋＝秋の末。何＝どうして。尽＝おわる。退＝おとろえる。小春＝陰暦十月の別名。遊観＝歩きまわって見物する。饒＝多い。

「神風特攻隊後続隊」知らざる私は強打された 青山 崇



『しんぶん赤旗』8日付の記事は、私の頭を強打した。

志願して面接・訓練の指導に当たり、戦後は日本共産党愛知県副委員長を務めた田中邦雄さんの話。

後続隊は、本土決戦に備えた特攻隊の予備組織。新聞広告や校長が5・6年生から選ぶなどして集めた。

広告は「隊員急募 勝の大道だ！皇国護持の絶対道だ！唯一残された！神風特攻後続隊(略)」「男女齡八問わ

ず」総司令 常岡達雄(略)。

志望者欄の「男女問わず」が狙いだったのか。「女性は(兵士)にれないので『天皇陛下のために死ぬ』場所が

ない」ので来たという女性が多く、半数以上は女性になった。

「親兄弟皆死んだ。敵を討たして下さい」と訴える沖繩出身の女性もいたという。

ひと

日下部勇一

(庄内町榎島)

青山 崇

■中学校、大爆笑を買った

1957年(昭和32)、勇一は中学生になった。筆者が庄内農高に新任し、三川町議を同じ期間ほど務めた佐藤政弥君が入学した年でもある。

「買えない生活」が始まる。まず通学用自転車だ。小学校と同じく堰などを道くさして

通った。

また、文房具もあり合わせ物だった。そんな時、S君から、ブリキ製で両開きの高価な筆入れを買ったときは涙が出る程嬉しかった。今もS君に会うことがある。何かで返礼しようと思っただけから幾年か経ってしまい悔いている。

小さかったからいじ

められた。特にU君から、叩かれたり、ツムグられたことは、今でも忘れられない。

でも部活の加工クラブは面白かった。「瓶詰」(缶詰)さらに、現余目製パンで勉強させてもらい、練習を終わった野球部員に売ったりした。

しかし無断で農作業場の2階に泊まり、Aさんが先生に教え、こつぽどく叱られた。加工クラブは調子よくいつて、ためになったと思う。

さて大爆笑事件であ



これが民主主義か

ビックリしたなものでした。これが自公政権の民主主義なのです。先の選挙で自公に入れた人達も、こんなこと許されますか。

▲森友学園に、国有地の払い下げが8億円も値引きされていた。安倍首相の昭恵夫人が、名誉校長の関係で値引きされたのではないかと疑惑に、首相が「私や家内が関わったとすれば総理も議員も辞めろ」と言ったことから始まったんだろう、あつてはならない公文書の改ざんだ。

▲この改ざんを命じられたのが赤木さん。彼は、良心の呵責から自殺された。何故自死さねばならなかったのかの原因を求めて裁判に訴えた赤木さんの妻。これに請求棄却を求めると、不真面目だったのが被告の国側だ。

る。クラスから立候補した生徒会長の応援弁士をすることになった。演壇に進み、そこでまず、礼をすることだった。皆を見渡し丁寧にお辞儀をした。

その瞬間、演壇に強くオデコを打ってしまった。会場に大爆笑が起った。

その後日談、英語の先生から、「笑いを誘うためワザとやったのか」と問いつめられた。自分は萎れているのに、こんな酷いことはないと思つた。がグツと飲みこんだ。

▲改ざんの経緯が書かれた赤木ファイル。被告はそんな物はない。と言いつつながら裁判所の命令でしぶしぶ出してきたのが、黒塗りのいわゆるのり弁状態。これが長い時間続いていたんだが、12月15日の裁判で突然、「訴えの全てを認める」と豹変したのだ。

▲訴えの全てを認める事を法律用語で「認諾」と言うんだぞうだ。これは最高裁の判決が出たのと同じで、裁判の終わりを意味する事に。従つて今後行われるはずであった証人尋問などの手続きは一切行われない。国は、金を払つて真相究明から逃げたんだ。これは首相にしてもらった岸田の安倍元首相への付度か。▲高い弁護料も損害金も俺たちの税金なんだとは許せねえが、アベ政権で壊された民主主義を取り返すのは国会の責任だぜ。(石川)